



みやき町

こんにちは

議会

です。

「子育て支援のまち宣言」

平成24年9月1日

「健幸長寿のまち宣言」

平成27年9月1日

元気に泳げ鯉のぼり

こども達の健やかな成長を願って…

(撮影日 平成31年4月15日)

目次

平成31年度当初予算	2
平成30年度補正予算	3
委員会審査報告	4~5
一般質問	6~21
編集後記等	22

スマートフォンやタブレット端末でインターネット議会中継を視聴できます。

みやき町議会中継

検索



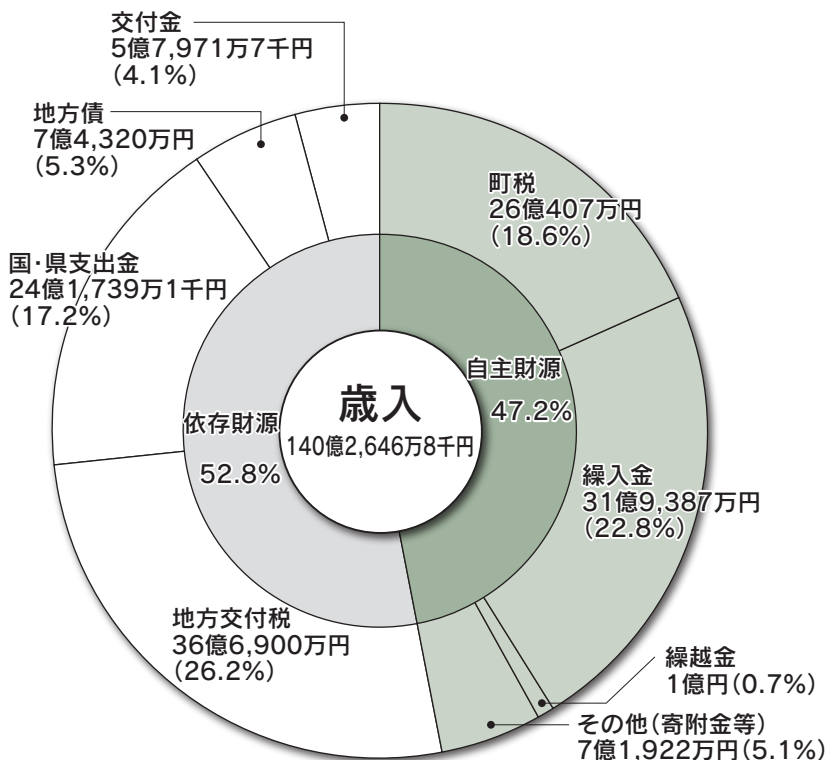
平成31年 第1回(3月)定例会

会 期 3月1日(金)～3月20日(水)

議 案 町提出：30議案／議会提出：3件

平成31年度みやき町一般会計予算

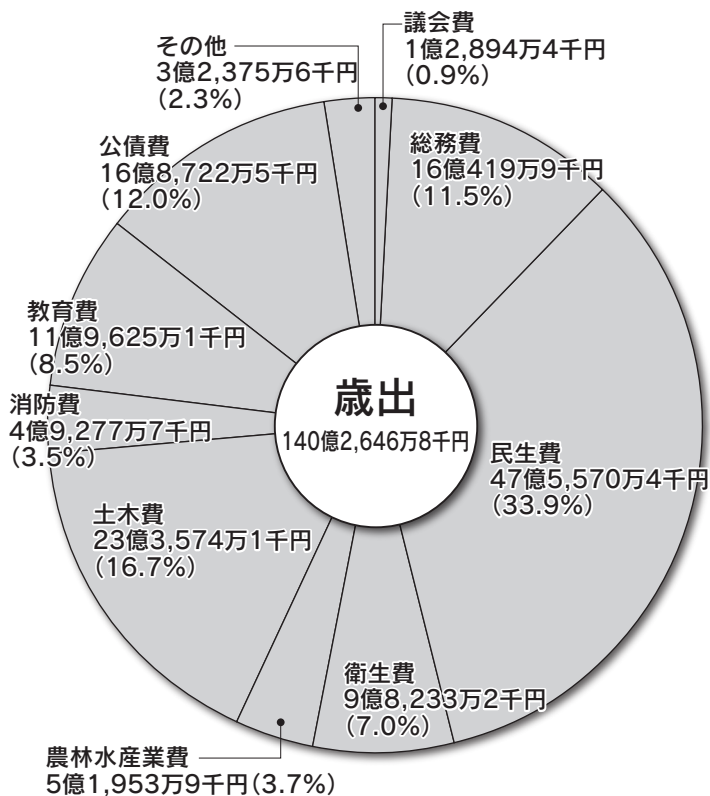
140億2,646万8千円



(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各項目の合計額が一致しないことがあります。

平成31年度会計別当初予算

会計区分	当初予算額
一般会計	140億2,646万8千円
国民健康保険特別会計	40億2,795万7千円
下水道事業特別会計	19億6,646万4千円
工業用地取得造成事業特別会計	8,034万4千円
グリーンパーク推進整備事業基金特別会計	1億1,454万2千円
後期高齢者医療特別会計	4億 635万6千円
住宅用地取得造成事業特別会計	838万 円
ふるさと寄附金基金特別会計	81億5,933万2千円
総合計	287億8,984万3千円



平成31年度 主要事業		金額
1	児童生徒登下校等パトロール事業	1,034万4千円
2	防犯灯設置改修事業	474万円
3	ハザードマップ作成事業	539万円
4	四季彩の丘みやき交流拠点整備事業	3,571万2千円
5	敬老事業・祝金支給事業	2,359万1千円
6	待機児童対策事業	3億3,708万3千円
7	出生祝金支給事業	1,421万円
8	道路・水路整備事業	6億9,655万4千円
9	メディカルコミュニティ施設整備事業	1億294万円
10	地区安全安心特別交付金事業	5億7,000万円

平成30年度 補正予算【全議案 可決】		
	補正額	総額
一 般 会 計	△4億3,291万4千円	153億3,037万9千円
国民健康保険特別会計	△1億7,524万2千円	39億2,592万7千円
下水道事業特別会計	△1億1,606万4千円	18億5,093万2千円
工業用地取得造成事業特別会計	4,347万4千円	1億2,483万6千円
グリーンパーク推進整備事業基金特別会計	△3,875万2千円	3,441万4千円
後期高齢者医療特別会計	△193万4千円	4億295万9千円
住宅用地取得造成事業特別会計	992万円	2,662万4千円
ふるさと寄附金基金特別会計	△3億2,583万1千円	298億2,398万8千円

その他の主な議案【全議案 可決】		
1	みやき町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について 保証人の規定を追加、貸付利率の引き下げ及び償還方法を追加するもの	全員賛成
2	みやき町営住宅条例の一部を改正する条例について 9団地から綾部団地、中原団地を削除し7団地とするもの	全員賛成
3	みやき町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 超過勤務を一月45時間、年360時間とし、一部の業務についてのみ、一月100時間、年720時間とするもの	賛成13 反対 2
4	みやき町新町建設計画の変更について 新町建設計画の期間を平成31年度までの15年間から、平成36年度までの20年間とするもの	全員賛成
5	事業契約の締結について（メディカルコミュニティみやきプロジェクト事業） 株式会社メディカルみやき（特別目的会社）と23億8,972万8千円の事業契約を締結するもの	賛成14 反対 1
6	下水道事業に係る工事請負契約の変更契約の締結について（中原姫方地区3工区） 工事請負契約について、1,778万5,440円を増額する変更契約を締結するもの	全員賛成
7	下水道事業に係る工事請負契約の変更契約の締結について（中原汚水幹線7工区） 319万6,800円を減額する変更契約を締結するもの	全員賛成
8	町道の廃止について 綾部住宅線の一部（14路線）	全員賛成
9	町道の認定について 西寒水七本柳線、五本松踏切線、杉三小原線、市原東大島線	賛成14 反対 1
10	みやき町教育委員会委員の任命について 古賀 正道 氏（三根校区）	同意
11	みやき町農業委員会委員の任命について 弓 米子 氏（北茂安校区）	同意
12	人権擁護委員候補者の推薦について 矢俣 宣昭 氏（三根校区）	同意

総務文教常任委員会

(1) 一般会計予算(分割付託分)〈賛成多数〉(賛成5・反対1)

① 普通交付税は、激変緩和措置期間の5年目で、乖離額の9割相当約3億4,900万円が削減される見込みで、平成32年度からは一本算定となり、更なる削減額となるので、今後計画的な行財政運営と財政の効率化により財政の健全化に努められたし。

② 平成17年の合併後新たな固定資産評価基準の適用漏れにより、過徴収分を全額返還することだ。適正な課税をしなければならぬ税務行政にあつて、その信頼を著しく損ねたこととなった。今回の過徴収の件を厳正に受け止め、信頼回復のため、再発防止に万全を期して頂きたい。

③ メディカルコミュニティみやき用地購入費として、1億294万円(購入面積7,858㎡)が計上されている。今後同事業完成までには、多額の支出が見込まれる。本町の今後の財政運営面で過度の負担とならないよう慎重な事業推進を望む。

④ 持丸古民家整備事業は、国の地方創生交付金事業として、約1億円の経費を投じ、平成28年度～30年度実施したが、未だ未完成となっている。本町南部農村地域の交流拠点として、事業の早期完成を強く望む。

⑤ 山田水辺公園駐車場用地購入費及び同用地整備工事費、北部地域観光地整備用地購入については、同地区への観光客の更なる増加が見込まれる。将来的には、山田ひまわり公園、鷹取山、はげ並木、山田水辺公園、綾部団地跡地、風天山などをフットパスコースで結ぶ散策道路建設事業等も調査研究の上実施されたし。

民生福祉常任委員会

(1) 一般会計予算(分割付託分)〈全員賛成〉

① いきいき百歳体操は、現在、57地区のうち21地区で取り組まれ、参加者から評価を得られている。地区のコミュニティケーションと体力維持向上が図られ、介護予防等にもつながると考える。今後、未実施地区に対するPRを行い、実施地区に対しても更に多くの方の参加策を講じられたし。

② 地域コミュニティ広場整備工事は、香田地区の空き家利活用事業(企業主導型保育事業)で、整備後は地域の広場と園庭として使用する計画。企業主導型保育所は運営が難しいとの報道もなされており、町の待機児童対策にも関わるとの事から、密なる情報交換を行い町としても運営を見守るべし。

③ みやき健幸マイレージ業務は、平成28年9月よりインターネットを活用した生活習慣病予防を含む健康づくりの推進が目的である。この事業を知らない方も多くあることから、今後もPRに取り組み、登録利用者を増やしさらなる健康づくりに取り組まれたし。

(2) 国民健康保険特別会計予算〈全員賛成〉

① 特定健診の平成30年度の受診率(速報値)は40.1%と前年度を2ポイントダウン。健診実施時期の6月は豪雨、7月は猛暑の影響が考えられるが、今後、実施時期や受診日数を増やすなど受診率アップ策に取り組み、早期発見・早期治療・医療費抑制を図られたし。

特別委員会審査の結果及び所見 (抜粋)

各会計とも全員賛成または賛成多数にて可決すべきものと決定しました

産業建設常任委員会

(1) 一般会計予算(分割付託分)〈全員賛成〉

歳入

- ① PFIで整備した定住促進住宅の空室期間を極力短縮すべき。
- ② 町営住宅の空き室について、早急に入居者を増やすための対策を講じるべき。

歳出

- ① 北茂安土地改良区の補助金額が多くなっていることは公平性に欠けることから、事務所移転および事務合併の促進を図られたし。
 - ② 暗渠排水施設整備の早急な事業実施および完了を望む。
 - ③ 住民が町道等を安全に通行できるよう路面状況の監視を徹底し、安全管理に努められたし。
 - ④ 町道中原三根線について、用地買収を早急に進め、早期の事業完了に努めるべし。
 - ⑤ 地域おこし協力隊の活動について、活動内容等を周知し、積極的な活動に取り組むことを望む。
 - ⑥ 町営住宅に来訪者用の駐車場がないため、来訪者用駐車スペースの設置を望む。
- ### (2) 下水道事業特別会計予算〈全員賛成〉
- ① 公共下水道事業における受益者負担金および使用料の現年分と滞納繰越分を分けて記載すべし。
 - ② 公共下水道事業については、遅延なく計画どおりの進捗および第4次認可区域の早期着手を強く望む。
- ### (3) 工業用地取得造成事業特別会計予算〈全員賛成〉
- ① 定住対策において、雇用のある企業の誘致は必須であるので、今後においても積極的な誘致に努力されたし。
- ### (4) 住宅用地取得造成事業特別会計予算〈全員賛成〉
- ① 今後においても官民連携し、住民ニーズに対応した分譲地の開発に取り組みられたし。

ふるさと寄附金事業特別委員会

(1) ふるさと寄附金基金特別会計予算〈全員賛成〉

- ① ふるさと寄附金の予算額が、30億円計上されているが、総務省は、返礼品の調達価格を寄附額の3割以下にすることを地場産品を使うことを求め、通知を徹底するため、本年6月1日から、守っていない自治体をふるさと納税制度の対象から外す、地方税法の改正案が今通常国会に提出されている。町としてもふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、適切・慎重な運用執行およびふるさと寄附金の予算額獲得に努力されたし。
- ② ふるさと寄附金基金繰入金のうち、21億4,603万2千円は、前年度までに積立てたふるさと寄附金基金を取崩し繰入を行い、22億9,150万2千円を一般会計へ繰出しを行っている。今後は、地方税法の改正により、ふるさと寄附金も多くは望めない状況が想定され、ふるさと寄附金基金の取崩し、財源充当についても、計画的な行財政運営と財政の効率化を十分に図られたし。
- ③ 地方税法の改正後のふるさと寄附金のさらなる獲得には、新しい魅力ある地場産品の返礼品開発が必要と思われるが、官民連携、関係団体との協力を図り努力されたし。
- ④ ふるさと寄附金については、広く町民に寄附受入れの実績、寄附金充当事業の実績、効果等をホームページ・広報紙等により明らかにすべし。
- ⑤ 地区安全安心特別交付金の事業については、道路水路整備事業、大木除去事業、防犯カメラ設置事業、健康器具整備事業、その他事業が該当事業ということだが、明確な基準、要綱を制定し、早い時期に区長会へ示し、効果的な事業活用の推進を図られたし。

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。

平成31年第1回定例会の一般質問は15人が行いました。

各議員のページに掲載しているQRコードから録画映像をご覧くださいませので是非ご利用ください。
(掲載は登壇順)

番号	議員	質問要旨	頁
1	4番 田中 俊彦	1. 綾部神社周辺整備について 2. 保育所の待機児童対策について	7
2	8番 牟田 秀文	1. 新たな農業の取り組みについて 2. 保育所待機児童対策について（待機児童の解消はどのようにするのか）	8
3	9番 古賀 通	1. 福岡県道入部中原停車場線の整備早期完了について 2. 学童保育の現状について	9
4	2番 目野さとみ	1. 持続可能な建設を目指す（SDG s）について 2. 児童虐待死再発防止について 3. 発達障がい支援について	10
5	5番 本村 鶴夫	1. 西部葬祭組合しらさぎ苑についての町の考えを伺う 2. 持丸地区にある古民家について	11
6	14番 岡 広明	1. 次期広域ごみ処理施設（県東部環境施設組合）についての町の考えを伺う 2. 県道中原・鳥栖線の早期着工について 3. 長崎街道の道路整備について	12
7	7番 大石 安弘	1. リサイクルプラザの利活用についての町の考えを伺う 2. 子育て支援策について 3. 障害者雇用について	13
8	15番 益田 清	1. みやき町地域再生計画 2. がん・特定健診の自己負担軽減について 3. 会計年度任用職員制度 4. 地震ハザードマップ作成は	14
9	3番 岡 友清	1. 持丸古民家について 2. 町内に横行する野犬、猫の保護について 3. みやき町育英資金貸付基金制度の拡充について	15
10	11番 松信 彰文	1. 佐賀県道136号早良～中原停車場線との接続道路である福岡県道入部～中原停車場線の整備工事が開始された。この2本の道路は、本町北部地区と福岡都市圏を直結する道路だ。早急な拡幅整備が必要だ 2. 10月より幼児教育・保育の無償化が実施予定だ。認可保育園では、3～5歳児は原則全世帯、0～2歳児は住民税非課税世帯のみとなっている。「子育て支援のまち」として、執行部の考えを伺う 3. 通瀬川の越水防止対策について	16
11	1番 田上 幸男	1. 白石東交差点付近の交通について 2. 不登校児対策について	17
12	13番 古賀 秀實	1. 児童虐待防止に向けた取り組み 2. 元号改正による課題と対応 3. 本町の土地所有者不明の実態	18
13	10番 宮原 宏典	1. 空き家利活用事業取得による進捗状況 2. メディカル構想	19
14	6番 中尾 純子	1. 自衛隊による隊員募集について 2. 千栗土居公園の環境整備について 3. 豆津橋の拡幅を	20
15	12番 平野 達矢	1. 定住促進策と限界集落の維持を考える 2. 災害弱者避難計画について 3. 空き家と農地セット取得の下限面積引き下げについて（農地法第3条の下限面積） 4. 違法埋め立て地の原状回復への対応 5. 公共用地内施設屋内外での広報誌等の配布、配置について	21



田中 俊彦 議員



問

旗上げ・旗下ろし神事が行われる綾部神社周辺の環境は観光客にとって満足できる状況でない。早急な対策を

答

綾部地区全体を観光資源と捉らえ観光事業の観点から動きを早める

問 県重要無形民俗文化財に指定の綾部神社で行われる旗上げ・旗下ろし神事は、1000年以上続く日本最古の気象台として知られている。指定を期に観光客が増加しているが、駐車場不足、境内のトイレ環境など観光客を迎える現状は必ずしも満足できる状況ではないと考え次の2点質問する。

① 駐車場不足対策およびトイレの整備
② 風天山公園の整備

体を観光資源と捉えた観光事業の観点では、是非行うべきと考えており観光客受け入れの起爆剤として、駐車場、公衆トイレ整備とともに検討していく。綾部神社東側の田地は地権者の了解を得ており既存の風天山駐車場とあわせ用地購入への動きを早める。



イベント時不足する駐車場

② 風天山については、このエリア全体の象徴的な史跡であり、観光客の動線としてまち歩きルートの一部に含めたい。また綾部神社境内から風天山頂上までには登山道に狭い箇所などがあるが、重機などが入りにくいことから観光客の危険性除去について工法等安全な登山道づくりを検討する。

待機児童対策について

問 町は平成30年度の保育施設整備により88人の受け皿確保を行ったが、国の保

育士の配地基準、敷地面積基準に基づく町全体の利用可能定員数を上回る厳しい状況にある。引き続き保育施設整備による受け皿確保と、保育士等人材確保事業に取り組むとのことだが次の2点質問する。

① 待機児童の今後の予想数と対応策
② 新たな保育所建設計画

答

① 平成31年度の入所申し込みは、823名で昨年に比べ153名の増で待機児童数の見込みは現時点で19名。今年4

月からさくらの杜保育園増築により50名の受入数確保。町内の松若幼稚園では定員12名の小規模保育園を開所。また町内の特別養護老人ホームが開設の企業主導型保育園や、近隣市町の企業主導型保育園への地域枠の受け入れ相談など受け入れ枠確保を行っている。なお保育士等人材確保促進事業については平成31年度の新規事業として、保育士、幼稚園教諭の人材確保対策を推進するため助成金を交付する。

② 定住対策事業をPFI手法による集合型住宅整備や、商業施設の積極的な誘導施策などを講じた結果人口増になっている。今後、B&Gプー

ル周辺の統合医療のメディカルコミュニティセンター構想に着手しており、その周辺に保育事業ができないか協議を開始している。また、中原三根線の開通にあわせ新たな市街化形成の構想もあり、一気に人口が増えた後いつか横ばいになることも踏まえ、広域的な入所も見込み、安定した保育運営事業が継続できるところなどを候補地として選定していく。



増築されたさくらの杜保育園



牟田 秀文 議員



問

新たな農業の取り組みは

答

労働の軽減を進めながら組織化し最終的にはみやまきまち株式会社への創設を図りたい

問 現在、農家が抱える問題は、後継者の育成と農業者の高齢化となっている。今後ますます高齢化社会が深刻な問題になり、農業従事者の減少が見込まれるが、次の3点について伺う。

①農業就業者の今後の見通しはどのようなと考えているのか。

②施設園芸および畑の耕作放棄地の現状と対策は。

③認定農業者および後継者の育成は。

答 働力の軽減を図ること。1日1、2時間、週3日働けるような人たちを組織化し新しい農業会社というものを含めて、最終的にはみやまきまち株式会社の中で町民全てを社員として健康長寿のまちと農業を連携しながら目指していきたいと考えている。

②今、トマトやイチゴハウスなどが年々、人手不足や高齢化により使えるハウスが放置され、それを活用してキュウリ栽培を行うことにし、既に交渉にも入って、今年から本格



放置されたビニールハウス

的に開始する。遊休農地対応策は利用意向調査の際や地権者、耕作者への助言の際、貸付の意向が確認された場合は、地域農業者や関係団体等へ情報提供を行い耕作に向けての橋渡しを図っている。

③認定農業者は5年次の年間所得が概ね440万円以上の計画を、認定新規就業者は同じく260万円以上の計画を立て、農業経営の安定を目指す認定制度で現在129名の農業者を認定している。この認定農業者の育成対策として、経営所得安定対策で、げた対策やならし対策の交付金の対象になる。また、農地取得や農業用機械購入の際の融資資金として農業近代化資金、スーパー資金など借り入れる際に利子補給など有利な条件で借入れができる。農家

保育所持機児童対策は

問 平成30年度の保育所整備で88名分の受け皿確保を行ったが、国の保育士の配置基準に基づき利用施設定数を上回る厳しい待機児童の状況にあるが、待機児童対策として保育所整備が急務だが、今後を見据えた対策は。保育施設とあわせ保育士の確保も急務だが、今後の対策は。

答 平成31年度の第一次申込者が823件、うち728件につき内定を出し、前年度同期と比較すると153件の増、平成30年度の保育施設整備により88名分の受け皿の確保を行ったが、町全体の利用可能定員数を上回る大変厳しい状況となっている。引き続き、保育施設整備と保育士等人材確保に取り組む。

みやまき町保育士等人材確保促進事業（案）

目的 保育士等の人材を確保するため、町内の保育施設等に就労する者に対し、助成金を交付する。

対象者 保育士等の資格を有し、町内の保育施設等で月120時間以上就労する者
 ※保育士等 … 幼稚園教諭、保育士
 ※保育施設等 … 幼稚園、認定こども園、保育園、小規模保育園、企業主導型保育園等

支援の種類	助成内容	助成期間
就労支援金 (未就労者がいる世帯のみ)	1世帯につき月額1万円を支給 ※町外居住者は月額5千円を支給	未子が6歳に到達する年度末まで
新規就労支援金 (みやまき町内の保育施設等で新たに就労し、みやまき町に住所を有する者のみ)	1世帯につき月額1万円を支給	就労を開始した月から36月間



古賀 通 議員



問

福岡県道・入部く中原停車場線が着工した。早期開通を推進すべき

答

五ヶ山ダムが竣工。現在不通の七曲峠区間が整備に着手。早期開通を関係機関へ要望していく

問 人口減少は全国的課題であり、町の定住促進は一定の効果が出ています。企業誘致と交流人口の増大を図ることも重要である。北部の山田地区はひまわり園や水辺公園に2万3千人が訪れていて観光バス駐車場も今回整備される。人口約158万人の福岡市とみやき町をつなぐ福岡県道136号入部く中原停車場線の七曲峠区間1・2kmが着工し早期完成が望まれる。大都市と町は最短距離のルートが開通するとその波及効果を見逃して

はならない。温泉や物産店を設けてさらには綾部神社(仮)中原三根線く天建寺橋く船小屋温泉・タマホームスタジオマ筑後へと期待は膨らむ。点と点をつなぎ優良な縦断道にする計画を推進する必要がある。

カーブ法面改修など予定しているが完成は未定。那珂川市ではダム竣工にあわせキャンプ場や商業施設が3月に完成する。

問 交流人口はその地に魅力や興味を求めて集まる。さらに今「関係人口」なる新住民づくりに取り組む地方がある。関係人口とは地域内にあるルートがあったり、過去に勤務や観光で友人知人となったなど、何らかの関係があった応援団づくりで、ふるさと寄附を縁に関係人口として検討しては。

問 町道(仮)中原く三根線は平成31年度開通予定だったが用地買収等が難しいので5年後の完工を期待している。

問 全国的に平成4年頃から放課後児童クラブが発足し保護者には好評だ。特にひとり親世帯には重宝がられており、学童支援員が「やんちゃな」盛りの子どものための良きアドバイザーとして感謝されている。「児童福祉法」によって運営されているが今回の改



七曲峠付近



五ヶ山ダム

学童保育の現状に くさく

正では①配置基準が緩和され1クラスも支援員は1名でも可能となる、これに沿って変更するのか?
②風雨災害時の開所は。
③10連休の対応について問う。



目野さとみ 議員



問

大切な子どもを命をどう守るか
児童虐待根絶にどう取り組むかを問う

答

学校では、気づきの目を養い、虐待を見逃さないように指導しつつ

況を伺う。

問 児童虐待に対しての現状と取り組み状況を伺う。

答 平成29年度18件、平成30年度31件の要保護児童として相談・継続支援を行っている。

問 虐待は、生活困窮や社会的孤立などによる生活のいろいろな子どもに向かうことで起きる場合が多いと考える。困りごとを抱える家族に声をかけ早期に支援する仕組みが重要と思うが、子育ての悩みなどの相談に応じる支援拠点の設置状

答 とつこい子育て

広場、ティアラ、児童館において地域子育て支援拠点として、子育て相談・支援を実施している。

問 児童福祉法の改正で、早期発見、早期対応から発生予防にかじが切られた。発生予防は家族支援の充実と考えるが、発生予防の取り組みについての考えを伺う。

答 児童相談所や警察など関係機関との連携を図り、町民へ



の周知、啓発活動を行い、児童虐待防止への意識の醸成を図りながら予防対策に取り組んでいく。学校では、アンケートや子どもたちの様子を観察することにより虐待の早期発見に努めている。気づきの目を養い、虐待を見逃さないように指導していく。

発達障がい支援についで

問 発達障がい児の人数と推移を伺う。

答 障がい児通所給付決定児の発達障がいおよびその疑いと診断された児童の推移は、平成28年度は16名、平成29年度は26名、平成30年度は44名、本年2月末は53名と増加している。

問 生活していくための家族の悩みや支援する方の課題を伺う。

答 子育ての仕方や障がいについての知識等において戸惑いが生じ悩んでいる保護者もおられ、脳の機能障がいであることから、対人関係が不得手な場合が多く周囲の理解が得にくい。支援に対する課題は、診断できる医療機関や療育の場が身近に少ない。

問 診断を受けたばかりの人の受け皿や環境の変化の対応策移行支援、啓発を誰がするか伺う。

答 受け皿として、環境福祉課、発達障がい者支援センター等に相談していただき、関係機関につないでいく。移行支援として毎年5月から7月にかけて就学相

談会を実施し、個々の子どもに応じた就学に係る相談を受けている。啓発について、乳幼児健診等で説明をし広報やホームページを活用し、理解を深めていただき、専門機関等への案内や相談先としての周知を継続し、関係課と情報を共有し取り組んでいきたいと考える。

※その他 持続可能な開発目標に関する町の取り組みについて質問





岡 広明 議員



問

次期広域ごみ処理施設予定地からの汚染物質対策は

答

鳥栖市の責任において土壌汚染調査・対策は行われる

問 溶融資源化センター（みやき町）は2023年で廃炉になる。

次期ごみ処理施設は神埼市・郡も含めて2市3町で構成され2024年度稼働となっている。

建設予定地からは、ダイオキシン類等他環境基準値を超える有害物質が確認され土壌処理費用は最低でも数億円は見込まれるが、地元の問題があるため、他市町に負担が生じないよう覚書等取り決める必要はないのか。

答 他市町への負担はないものと思う。

汚染物質の取り決めは現在、予定地の北西部の土壌調査等を行っている。その結果等も出て、関係構成市町で協議されていくものと考えている。具体的に協定には至っていない。

問 来年度着工予定で施設の設計、造成工事、機種選定、発注、建物の建設、機械取付、外構工事、焼却の試運転、稼働とめじろ押しであると思うが、総事業費や市町の負担割合はどうなっているのか。

答 施設全体が敷地内におさまるのか、工程や建設費はどうなるのか検討されている。

事業費の各市町負担は均等割10%、人口割90%である。建設費は、事業者選定を行う際の処理方式も複数あり、現在は不明である。

問 地元同意（真木町）の協定内容および周辺区域の諸問題対策を伺う。

答 地元や周辺地区との協議は建設着工までに締結を目的として協議中であると

聞き及んでいる。旭地区区長会に対しては、安全性等説明を尽くし協議を進めたというふうである。

県道中原・鳥栖線の早期着工は

問 国道34号中原橋交差点から南下し旧国道までは、平成14年に開通し、鳥栖市側は国道3号（高田町）より西へ拡幅工事が進み安良川の橋の架け替え中で、JR旭駅の方へ、工事が進む計画である。

次期ごみ処理施設に隣接し、ごみ搬入、鳥栖市南部、久留米

市へのアクセス道路でもある。町においても定住促進にも大きく寄与するためルート計画がいまだに未定（中原・北茂安校区）のため早急に計画をし提案活動をすべきである。

答 県と協議した内容は、まずは鳥栖市側から整備をし、みやき町側は今後ともルート検討を進めていく考えだ。

放置された長崎街道の整備を

問 国内5街道の一つが長崎街道で、町境には「長崎街道中原宿」の石柱標があり、また、所要所には観光

マップ看板が設置されている。三養基高校野球場南と中原地区中島村の二カ所が未整備で繁茂し放置状態である。観光の面、環境の面では非舗装などして管理すべきではないのか。

答 整備に向けて、埋葬文化財の観点から舗装化自体が遺跡の破壊とみなされるので、それ以外の方法で検討したい。



放置された長崎街道



大石 安弘 議員



問

リサイクルプラザを激甚災害時の中期的避難場所として活用できないか

答

大規模災害時の応急住宅として有効活用したい

対策として認識している。

問 近年、日本列島においては、毎年大規模災害が発生し、多くの被害者、避難者の方々が、長期にわたり劣悪な生活を余儀なくされている。

リサイクルプラザは、多くの人が中期的に生活する場としての環境は十分に整っていると思われる。鳥栖市、上峰町との広域財産ではあるが、協議の上で大規模災害時の避難所として指定はできないか。

答 平成29年5月に地域防災計画を策定、リサイクルプラ



リサイクルプラザ座敷

ザ周辺では紀水苑を指定。地域防災計画の中で、県との連携として、応急仮設住宅の建設、被災住宅の応急処理、公営住宅の提供を実施することとしている。ただし、仮設住宅の完工までの間、被災者の応急的な受け入れ施設の供給は必要な



リサイクルプラザ風呂

答 利用可能なものは有効に利用するよう、前向きに検討したい。

問 仮設住宅やトリーハウスを整備する前に、既存設備の有効活用を望む。

子育て支援策について

問 平成30年3月に入学祝い金の支給はできないかというところで質問したが、進学時には準備の期間も要するために、角度を変えて卒業祝い金は支給できないかについて質問。

子どもが大きくなるにつれ、つい忘れがちになるが、かつて皆さんも、家賃、住宅ローン、車のローン、保険、税金、保育料などの支払いに追われた経験をしたと思う。「子育てするならみやき町」としては、是非手厚い子育て支

援をお願いしたい。

答 現在、平成32年度からの第2期子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査を実施中であり、その結果を見て検討したい。

障害者雇用について

問 2018年8月、

省庁および地方自治体等の公的機関において、障害者の水増雇用問題が発覚。全国自治体でも調査された結果、みやき町および町教育委員会共に法定雇用率、町2.5%、教育委員会2.4%を未達成という大変残念な結果が昨年12月26日の佐賀新聞に掲載されていた。民間企業は厳しい経営の中にあっても

2.2%の障害者雇用率を達成しないと、100人以上の従業員を抱える企業では、月5万円のペナルティーが科せられる。

今後、未達成の自治体には新たなペナルティーが用意されるが、みやき町として障害者雇用にどのような取り組みをしているのか。

答 佐賀労働局より法定雇用率の達成、障害者の活躍の場の拡大、新たな任用に對して依頼を受けている。未達成となつた理由としては、分母である職員数の増加、法定雇用率の0.2%アップによる。今後については、職場環境の改善を進め、法定雇用率の早期達成を図る。



益田 清 議員



問

建設費約24億円
メディカルコミュニティセンター今年度着手

答

1万9000平米の敷地に2階建て複合施設

問 3月議会はメディカルコミュニティセンター建設費24億円、駐車場用地費として約1億の土地購入費を一般会計で計上し、可決した。

プロジェクトの趣

旨は、統合医療(町と天神会の官民連携)を核とした健康増進と予防、リハビリ施設の運用とされている。

①町民の健康増進を具体的にどう進めていくのか。統合医療の効果検証が確立していないと聞いています。

②町主体の建設ではなくPFI手法。費

用は建設会社が借入し2年(31・32年)後完成、町が施設を購入するシステムになっている。購入資金は主に起債(借金)とされているが、その内訳は。

③町営施設の維持管理・運営費の試算。

答

①統合医療は西洋医学と補完代替療法の組み合わせで治療を行う。効果検証については、厚労省の統合医療に係わる情報発信などで公開されている。信ぴょう性は高く注目されている医療分野といえる。連携事業者が



※メディカルコミュニティみやき構想図(B&G海洋センター周辺)
複合施設、天神会スペース・整体院・トレーニングジム・薬局+小売店・整骨医院・針灸院・食品サプリメント販売店舗など18店舗が入る。2021年開設

専門的知見と経験を持ちより、チームとして発揮していただくことに、本事業の意義があると考えている。

②今回、提案内容に新たに老人センター機能を追加し、24億円となった。

買い戻しの財源は起債が約18億・ふるさと納税の財源から約5億円となる。

議会特別委員会で意見の集約をはかり改善を図っていきたい。

③施設の維持管理・運営については入居されるテナントと協賛会を発足、検討していくことになる。

無料、がん検診・特定健診の自己負担

問 今年度から集団のがん検診・特定健診の自己負担は無料となり、受診率向上の見込み。認知症予防検診の実施について伺う。早期発見治療で治る認知症もあり、リスク検査(MCI検査)の対応は。

答 医療費の抑制を目的に実施した。受診率は前年より1.1%~5%増で約800万円の予算増。MCI検査は他自治体の事例を研究しながら検討したい。

会計年度任用制度について問う

問 2020年4月から臨時・非常勤

職員の職はほぼすべて廃止され、会計年度任用職員に移行する。雇用期間は原則1年(再雇用は可能)で、フルタイム勤務とパート勤務に分けられる。新設の会計年度任用職員は何名で処遇改善は。

答 9月議会では会計年度任用職員の給与条例、臨時的任用職員に関する規則など改正が必要となる。臨時非常勤の職員は約300名。

地震ハザードマップ

問 みやき町地震ハザードマップ策定を急ぐべきだ。

答 重要性は十分認識している。検討していきたい。



岡 友清 議員



問

持丸古民家の進捗状況について

答

地方創生推進交付金等を活用し整備を進めていきたい

問 古民家を見てみると近年の一戸建て住宅のように合理的と言ったか無駄のない作りではあるが、昔の作りの古民家は、何かしらホッとする気持ちになる。私は5点についておたずねしたい。

①古民家の改装については、いまだ完成にいたっていないが今後どのように考えているのか。
②トイレが一基しかないが全然足りていない。
③2階の改装計画はあるのか。
④古民家への進入道路、駐車場の拡張計画はあるのか。
⑤今後の管理体制はどうなるのか。

答 ①平成28年から地域住民の方と協議しワークショップを重ねつつ、3年にわたる改修を進めてきた。

②今後は、持丸古民家利活用協議会の皆様や、来館された方々の意見をきいて進めていきたい。
③当面は協議会の皆様に試験的な運用をお願いしている。
④入口の拡幅を含めた駐車場の整備についても問題を解消し整備を進めていきたい。

⑤北側に関しては、温泉の可能性調査の結果を踏まえて、早急に検討していきたい。

問 最近、野犬はあまり見かけないが猫は多く見かける。このままではいけないので増やしていくと考えられる。一方、ふん尿などに悩まされていく方も多いため、猫の保護施設を作り、去勢などを行うことはどうか。また、分譲住宅等も増え死亡後の取り扱い

町内に横行する野犬・猫の保護について

問 現在、犬については狂犬病予防法により、登録・予防注射が義務づけられている。猫については法的取り決めがないため、放し飼いなっている。無責任な餌やり、望まれない繁殖、新たな野良猫の発生をくり返し生活環境被害に関する相談・苦情も増加傾向にある。

答 現在は、国・県が推奨しているTNR活動（一時的に保護し

不妊去勢手術を実施し元の場所に戻す活動）を実施する団体への補助を検討したい。火葬の助成については、飼い主の終牛飼養の規定がある。

答 現在は、国・県が推奨しているTNR活動（一時的に保護し

答 現在は、国・県が推奨しているTNR活動（一時的に保護し

答 現在は、国・県が推奨しているTNR活動（一時的に保護し

みやき町育英資金貸付基金制度	
貸付対象者	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校、中等教育学校（後期課程のみ）、特別支援学校（高等部のみ）、高等専門学校、専修学校（高等課程）、専修学校（専門課程で修業年限が2年以上のもの）、短期大学、大学、大学院に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、学資の支弁が困難である者
奨学金貸与月額	高校生 20,000円以内 大学生 40,000円以内
貸付期間	貸付決定された当該学年から正規修業時まで
利率	無利子
返済期間	最終学年卒業の月の翌月から3ヵ月を経過した日より8年以内
選考方法	思想堅実、意欲、品行方正、学業優秀、身体強健で、学資の支弁が困難な者の中からみやき町育英資金運用委員会において選考する

問 卒業しても、家・町内に残り近隣の企業に就職した人への返還優遇を検討できないかおたずねす

答 卒業しても、家・町内に残り近隣の企業に就職した人への返還優遇を検討していきたい。

みやき町育英資金貸付制度について

答 みやき町の育英資金の貸付状況は平成30年度まで、大学生19名、短大生2名、専修学生2名、高校生8名で、このうち19名は貸付が終わり、8名は返済も完了している。定住子育て支援対策の提言として今後のふるさと寄附金の動向をみながら検討していきたい。

答 みやき町の育英資金の貸付状況は平成30年度まで、大学生19名、短大生2名、専修学生2名、高校生8名で、このうち19名は貸付が終わり、8名は返済も完了している。定住子育て支援対策の提言として今後のふるさと寄附金の動向をみながら検討していきたい。

答 みやき町の育英資金の貸付状況は平成30年度まで、大学生19名、短大生2名、専修学生2名、高校生8名で、このうち19名は貸付が終わり、8名は返済も完了している。定住子育て支援対策の提言として今後のふるさと寄附金の動向をみながら検討していきたい。



松信 彰文 議員



問

佐賀県道・早良く中原停車場線の拡幅整備の推進を

答

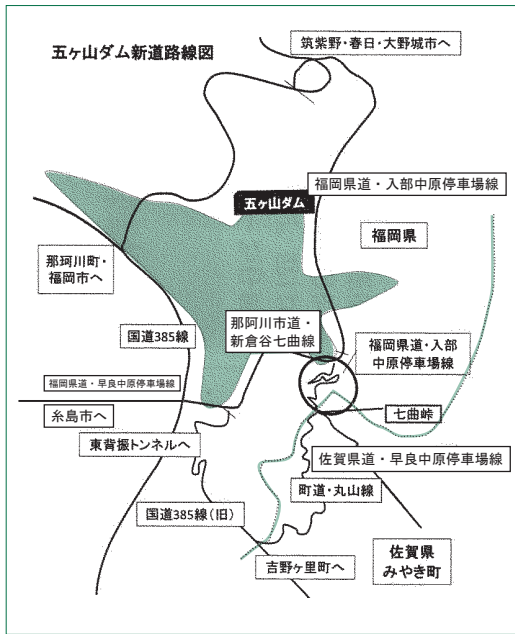
議会および町北部地区と連携して取り組む

問 6回目の質問だ。福岡県五ヶ山ダムが完成し（平成30年3月）附帯工事として福岡県道136号入部く中原停車場線の修復整備工事が平成30年4月から着工された。

この道路は本町北部の佐賀県道136号早良く中原停車場線と直結している。また福岡県側では那珂川市道・新倉谷く七曲峠とアクセスして湖岸道路を通じ福岡都市圏へ至る。本町としてこの機会に推進組織を設立して周辺道路環境の早期改善を佐賀・福

岡両県に強く要請していくべきだ。

答 福岡県側で着工されたことは画期的だ。福岡中部くみやき町く福岡南部を貫く道路であり、果たす役割は大きいと思う。共に取り組みたい。



延長	1.2km
幅員	3.5m
離合拡幅	5m
カーブ拡幅	5m（3カ所）
アクセス道路	佐賀県道136号早良～中原停車場線 那珂川市道新倉谷～七曲峠
工期	H30. 4. 1～（当初計画4年）
事業費	約5億円

待機児童問題

問 この問題は本町の定住対策事業の進捗で町行政の優先順位1位の課題だ。平成31年度のは。

答 左の通りだ。

H29年度	19名
H30年度	15名
H31年度	19名

問 状況の改善が見られない。

答 入所申し込みが対前年比153名増の823名となり保育定員数と保育士確

保の面で対応できなかった。

問 待機児童ゼロは本町の基本命題だ。今後の対策は。

答 計画は左の通り。

1	北茂安校区 にここお花保育園	開園 H31.4.1	小規模保育 事業所	1～2歳児 12名
2	三根校区 正安寺学園	開園予定 H32.4.1	認定こども園	0～2歳児 30名 3～5歳児 55名
3	北茂安校区	開園予定 H34.4.1	保育所または 認定こども園	0～5歳児 100～150名
4	みやき町 保育士等人材 確保促進事業	H31.4.1	事業費 780万円 保育士新規者 (フルタイム)	(詳細は こども 未来課)

通瀬川の越水被害を繰り返すな

問 通瀬川は昨年雨期に2回越水した。家屋の床下浸水や農地・道路が冠水し通勤・通学に大きな

支障が出た。本年もまた雨期が来る。対策は。

答 県東部土木事務所との対策は左の通り。

平成31年度予定工事については現場の状況等により追加工事もあり得ると伺っている。また抜本的な改修工事については下流域より順次計画的に実施されている。

	工事箇所	距離	工事費
H30完了分 (H30.11.14 ～ H31.3.15)	小原橋上流から 尙立石ゴム東橋梁間の 浚渫	625m	800万円
H31予定分 (H31.4.5～ H31.7.15)	①小原橋下流から 通瀬橋間の浚渫	400m	2,000万円
	②ポンプ場下流から 南通瀬橋間の浚渫	600m	



田上 幸男 議員



問

白石東交差点の渋滞の緩和策と今後の取り組み

答

今後の交通量増加に向けて県東部環境施設組合と連携しながら要望、検討を行う

問 白石東交差点、国道34号と、町道白石西大島線が交差するT字交差点だが町道から国道へ右折するのが朝の時間帯はとりわけ混みあい、国道から町道への右折車と、町道から国道への右折車が事故を起こしそつになる。その声が聞かれる。そこで朝、夕の交通の状況、サッカー、競馬の時の交通の状況、右折車の通行の仕方、時差式信号、矢印式信号への変更等、道路の管理、信号の管理を含めて伺う。



白石東交差点の渋滞状況

答 まず国道34号は常時交通量が多い路線であり、接続する周辺の道路も時間帯によって渋滞が発生している。特に朝の町道は信号待ちの車が30台以上あり、青信号の間に10台ほどが進行している。また、サッカー、競馬の時は、夕方の佐賀方面へが混雑している。国道34号の佐賀

方面からの右折の仕方だが、3台程度右折待ちできるが、町道が青信号になって先頭が右折車だった場合、国道からの右折車と衝突事故が発生してもおかしくない状況を確認している。時差式信号、矢印式信号機への変更については、佐賀県警本部および佐賀県公安委員会への要望が必要。改良を行うならば時差式信号だと考えるものの、現段階では国道34号は交通量を集中管理する路線であり、東西通行の渋滞緩和を優先する可能性が高

く、変更には地元との十分な協議が必要である。
問 国道34号は朝、東方面は村田先の一本松までが渋滞している。右折車同士の事故を防ぐためにも渋滞の緩和策として何か方法があれば答弁願う。
答 ごみ処理施設が平成36年4月に鳥栖市へ移転する計画があり町内を横断するごみの搬入車両、また町道白石西大島線自体の交通量増加が予想される。佐賀県東部環境施設組合の

2市3町と連携しながら要望、検討をしていきたい。

不登校見対策について

問 半年前、同じ質問をした。小学生、中学生、そして幼稚園児から成人となる高校生まで不登校児童対策ならびにいじめについて再考してみた。教育というのは、学校、家族、地域、友人・知人の四輪でつくる車みたいなものでそのどれもが欠けてはいけないし逆に突出してもいけないと思う。前回の質問とともに親のDVと不登校の関係について伺う。

答 不登校児童生徒とは月間30日以上欠

席した者のうち、病气や経済的な理由による者を除いたものであり、平成31年2月末で4小学校合計13名、3中学校合計16名、1回も登校してない児童・生徒は中学校1名である。DVと不登校との因果関係は明らかではないが、そのような事が疑われる場合は学校や子ども未来課、スクールソーシャルワーカーとも連携して丁寧に対応していきたい。

問 不登校問題、いじめ、そして虐待について総括的な意見を伺う。

答 これからも地域と連携し不登校対策、虐待に目を光らせていきたい。



古賀 秀貴 議員



問

「もうおねがいゆるして」
防げなかった虐待死

答

各機関と情報を共有し継続支援を行って
いく

問 児童虐待が増大する背景には、経済的困難などの貧富の差が広がり子育てにも影を落としている。さらには核家族や近隣とのつながりの希薄化などにより子育ての悩みを相談する人が近くにいない等、さまざまな社会的要因がある。町の現況においての対応は。

問 児童虐待が増大する背景には、経済的困難などの貧富の差が広がり子育てにも影を落としている。さらには核家族や近隣とのつながりの希薄化などにより子育ての悩みを相談する人が近くにいない等、さまざまな社会的要因がある。町の現況においての対応は。

答 町において平成29年度に全体で18件の要保護児童として、相談および継続支援を行っている。平成30年度において31件の同様な相

問 従来の児童虐待防止法においては、児童相談所のみであった。しかしながら法改正により市町村単位で通告先となり、児童相談所と2層構造で対応する仕組みとなっている。発

問 従来の児童虐待防止法においては、児童相談所のみであった。しかしながら法改正により市町村単位で通告先となり、児童相談所と2層構造で対応する仕組みとなっている。発生予防、早期発見、早期対応の役割について伺う。

答 実務者会議において、個別ケース会議を中心として要保護児童の対象世帯に対して情報交換を行っている。現在も

適切な支援内容を協議しながら進めている。早期発見およびその適切な保護を図る目的として、関係機関、団体等との連携を図っている。

問 児童虐待および虐待死児童の根絶のためには、子どもを守る地域ネットワークの対策や、児童対策協議会等に対応されていると推察する。その役割と必要性について伺う。またラインや、チャットを利用した相談窓口の創設について伺う。

答 みやき町要保護児童対策地域協議会により、要保護児童の早期発見およびその適切な保護を図ることを目的として取り組んでいる。構成委員として、県中央児童相談所、鳥栖警察署、保健福祉事務所、医師会、学校PTA代表、各種団体、各関係課等18名で組織している。また、児童館に相談窓口の開設、電話・メールによる相談を実施している。

78-310(なやみ言おう) 24時間対応、年中無休

元号改正による課題と対応

問 政府は新元号の公表時期を改元日となる本年5月1日の1カ月前と規定し、システム改修等に支障が生じないようにと発表した。町のシステム改修と同時に、新元号への対応と取り組み。

答 町の各システムの対応は、本年中に改修を完了し3月中旬に各種帳票等の検証を実施した。4月に新元号が発表された段階で5月1日から新元号での帳票作成等が可能になり、特に混乱はないと考え

問 元号改正により町民生活への影響や町の対応として、想定される課題は。

答 諸手続きは要するもののそれを見越した準備を進めている。町民の方に對する特段の負担はないものと認識している。町民の皆様への不便や不利益等に問題が出ないように対処していきたい。

※その他 本町の土地所有者不明の実態について質問





宮原 宏典 議員



問

平成30年度9月補正予算で空き家取得205・11㎡(予算額1095万2千円)から半年が経過した。その後の対応は

答

電気・ガス・下水道等の最低限の修理を2月中旬に行った。建物には町所有と判別できるように表示している

で取得した。

再建築費から経過年数を考慮している。

では説明されていない。議会に隠した議案上程だ。宿泊使用契約も無く事故発生時にはいかに責任を取るのか。

出したプロジェクト事業だ。地方債・合併特別債・ふるさと納税寄附金で賄い、他の補助金や一般財源は使用しないと説明だが間違いなのか。

二ングルーム・整骨院・整体院・針灸院等が町内に数多くあるが民業圧迫にはならないか。

答 本事業の趣旨に賛同した上で参画した方で、民業圧迫につながるような行政が主体となつて取り組む。

問 9月補正での、みやき庁舎隣接空き家の取得額の予算内訳を問う。

答 土地については、路線価を基本として算出している。建物については、推定再建築費から経過年数を考慮して算出している。一つの適切な基準で積算を行っている。

問 高齢化が進み町による空き家取得が進む中で価格決定は何を基準にしているのか、空き家取得基準価格を策定すべきだ。

答 土地は路線価を基本に、建物は推定

問 佐賀ナンバー軽ワゴン車、神バナナ会社の駐車・宿泊契約はできているのか。

答 所有者と協議を行い、駐車場の一部を残してほしいと相談があり分筆した。契約については普通

答 質問の趣旨を踏まえ適正に管理と活用をしていく。

メディカルコミュニティセンター構想

問 契約金額約24億円の事業契約予定だ。人の健康・地域の健康・町の健康を三つの柱とし統合医療を核として、町民の健康増進に取り組み町長の指針で動き

問 平成30年度当初予算中原校区香田地区空き家取得価格はいくらか説明を求む。

答 約1095万円



取得した空き家

問 分割取得の件は先の同僚議員の質疑



メディカルコミュニティセンター予定地(市原グラウンド)



中尾 純子 議員



問

自衛隊による隊員募集に対して守るべき住民の個人情報や自治体が提出してよいのか

答

法定受託事務として、法令に明記されている。それに従って募集を行っている

課と協議の上行っている。

問 紙媒体、あるいは電子媒体、あるいは閲覧なのか。

答 18歳になる住民名簿の閲覧である。

問 防衛大臣が自治体に対して自衛官募集に関して適齢者名簿の資料を求めるところができるようになってくるが、自治体が応じる義務は規定されていない。町は防衛省に、18歳と22歳の名簿を渡したのか。

答 自衛隊の任務は我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つため我が国を防衛することが主たる任務。総務課で担当する事務の一つとして、国の法定受託事務として必要な募集対象者情報の提供を住基担当の住民窓口

問 去年5月15日付で防衛省が全国の市町村長宛に自衛官募集の推進について文書が出された。その内容は、自衛隊の見学を進めること、また町内会全ての団体に募集の協力依頼まで含まれている。このことに執行部は疑問を持たなかったと

答 考える。個人情報保護することが役割ではないのか、自分の情報が漏れていると知ったら保護者も不信を抱かれるのではないか。自衛隊を否定しているのではない。国内での人命救助や災害救助で活動されている。消防も警察も、住民の安全の為に活動している。しかし、政府から名簿提出などはない。私が危惧するのは、安倍首相が戦争する国づくりを憲法を変えてもやり遂げたいと考えているから。執行部はこのことについてどう考

問 一般質問通告後公園の整備が進み始めている。

千栗土居公園の環境整備は

答 水路工事については、二千年ハス池に冬の時期も水が行くようにする。



アジサイ



水路工事

豆津橋の拡幅を早急に解決

問 通勤時、通学時等この豆津橋付近が大変混雑。県道神埼北茂安線ができて特に車が増えた。今度、トリアル、セブンイレブン付近に信号機がつく。もつと混む可能性がある。

答 引き続き福岡県と議論をしていくと回答を得た。昨年7月には、市町議会議長懇話会において知事に、早急な豆津橋の4車線化を実現していただくよう要望した。



信号機設置



平野 達矢 議員



問

定住促進策と限界集落の維持を考える

答

地域コミュニティの継続維持に努力していきたい

問 定住促進策で町

内各地区間に格差が生じている。住民は

等しく公益を受ける

権利があるが、町内

57地区をみると、極

端に人口が増えてコ

ミュニティが大き

膨らんでいる地区も

あれば、また逆に人

口が年々減少し地区

の維持が難しくなっ

ている地区もある。

今後真のみやき町の

発展を考えると町内

すべての地区に気配

りをすべきと考え

る。そこでその基礎

となる部分について

見解を伺う。

①地区別の人口動態

統計をいかに把握さ

れているか

②地区別ひとり暮らしの世帯数

③地区別デイサービス利用者、未利用者

④昼間の通常生活者の現状と民生委員の活動状況

⑤地区公民館の開館使用状況

⑥県の施策との融合

⑦人口増は十年前と比べて中原校区は3、北茂安校区で6、三根校区で3の12地区、残りの45地区で人口減、減少幅が2割を超える地区が3地区。

⑧ひとり暮らし世帯は中原校区で502世帯、北茂安校区616世帯、三根校区316世帯。

⑨デイサービス利用者には中原174名、北茂安254名、三根210名である。

⑩昼間の生活については民生委員の活動として、高齢者世帯、要介護者、障害者、ひとり親世帯などに定期的訪問活動により相談等受けている。

⑪公民館については把握できてないが町補助金等活用し、拠点活動されている。

⑫県とは各種プロジェクトの人口減少地域に特化した支援を

展開している。今後モデータを駆使し、支援が必要なエリア、必要な内容をあぶり出し地域コミュニティの継続維持に努力していきたい。

者は平成29年、対象者1465名に対し302名が事前提供に同意、平成30年123名同意、現在425名登録、同意率29%である。大規模災害が発生すれば、公助には限界がある。自主防災組織としての共助の取り組みや同意率アップに積極的に支援して行きたい。

行告示、三根庁舎掲示板掲示、同年十月号町広報紙、ホームページ掲載、実効は現時点相談2件。(うち指定1件)

災害弱者避難計画について

問 災害時に高齢者や障害者が自力で避難することが難しい、いわゆる災害弱者を把握して被害者にならないように、名簿作成、個別計画策定すべきと思う。現況と対策を伺う。

答 避難行動要支援

問 標題について、農業委員会での議決時期、施行時期、公示の方法、その後の実効を伺う。

答 平成30年末に農地として計画の提案があったので現在農業委員会内および届出者関係機関と協議中である。罰則規定の条例化へ向けて、佐賀地方検察庁と協議中である。

※その他 広報誌の配布、配置を質問

問 標題で埋立申請者との交渉経過、原状回復と法的措置について伺う。

答 平成30年末に農地として計画の提案があったので現在農業委員会内および届出者関係機関と協議中である。罰則規定の条例化へ向けて、佐賀地方検察庁と協議中である。

違法埋立地の原状回復

問 標題で埋立申請者との交渉経過、原状回復と法的措置について伺う。

答 平成30年末に農地として計画の提案があったので現在農業委員会内および届出者関係機関と協議中である。罰則規定の条例化へ向けて、佐賀地方検察庁と協議中である。

新元号「令和」

新元号が「令和」と決定されました。

出典は日本最古の和歌集「万葉集・巻5」。

天平2年（730年）の旧暦1月、現代の2月頃、太宰府の太宰府人邸での「梅の花をめぐる歌会」の序文の中の「令月」「風和」から選ばれたと報じられています。

この2文字の中で特に「令」は、現代では命令・法令・号令等に使われ固い印象ですが、古典では、好（よ）い・清らかで美しいという意味で使われているようです。



鯉(武者)のぼり

晩春から初夏の薫風香る青空に、元気に泳ぎ、はたたく鯉のぼりや武者のぼりは「端午の節句」の象徴であり平和の証しです。

みやき町とポランティア団体「茂安のぼり会」は毎年各庁舎や北茂安小学校南クリーク沿い・千栗土居公園などに鯉のぼり・武者のぼりを掲揚しています。

こども達の健やかな成長と町民生活の安全安心の確保さらには、みやき町の「鯉の滝登り」のような活力に満ちた発展を願い取り組んでいます。



交差点改良

①国道34号三養基高校入口交差点改良

当該箇所は、小中高校への通学路として多くの生徒が利用しています。

右折レーンの設置、自転車歩行車道の整備、バス停車帯の整備で歩行者の安全を確保します。

②町道中津隈～市原線交差点改良

県道神埼北茂安線の供用開始で、県道へのスムーズな合流を目的として豆津丁字路交差点に信号機設置中です。



三養基高校入口交差点

町内人口増

本町では、人口減少、少子高齢化の波に歯止めをかけ、活力ある町を維持していくために「住宅支援」をはじめ、さまざまな分野で民間との連携を図りながら各種施策に取り組みできました。

結果、平成30年は6年連続での転入超過、平成8年以来、実に22年ぶりとなる76名の人口増に転じました。

人口減少は、地域経済の縮小、税収の減少など町に与える影響が多大です。

今後住宅対策、働く場所の確保、子育て支援、教育環境の整備等に取り組んでまいります。



さくらの村保育園増築棟

編集後記

新元号「令和」は「日本の国柄をしっかりと次の時代へと引き継ぎ、各人がそれぞれの花を大きく咲かせることができる国でありたい」との願いが込められています。「万葉集」には自然に関する言葉が多く使われていますが、「令和」には激甚災害に耐えられる時代を創っていくとの思いも込めたいと思います。



町木・桜

◎広報編集委員会

委員長	松信 彰文
副委員長	田中 俊彦
委員	岡中 広明
委員	岡野 達矢
委員	平野 純子
委員	中尾 純子
委員	目野さとみ